

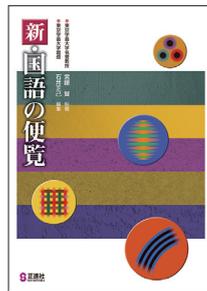
# 国語便覧を ご活用ください!

理解が深まる、  
興味が芽生える、  
心に残る

## ご存知でしたか

「中学生のときに、国語の授業で教科書以外にどんな教材を使ったか覚えていますか？」  
こんな質問をすると、ほぼ100%「国語便覧!」という答えが返ってきます。

## 国語便覧は生徒の「心に残る」教材です



便覧（びらん）とは

特定の分野に必要な事項を簡潔に説明、必要な時に必要な項目を即座に確認できるように編集された参考図書。「資料集」とも呼ばれる。

## Q 国語便覧は必要なの?

国語便覧は、豊富な情報、美しく興味深い写真や図解を活用して生徒の理解を深めたり、興味を引き出したりするのに最適な教材です。学習意欲を高め、学力向上につながります。

便覧って  
おもしろいよね!!



## Q 教科書にも資料はたくさん載っているのでは?

① 基礎的な内容から発展的な内容まで先生の立場、生徒の目線で資料を集めています。

- ◆教科書の説明文を理解し、より具体的にイメージできるような資料を集めていますので、学習内容の理解を促進できます。
- ◆教科書よりも詳しい年表や古典資料、興味深い写真や図解、数多くの言葉の資料等を掲載していますので、調べ学習や受験対策にも最適です。



② 第一線の現場の先生が編集していますので、「ほしい資料」「使える資料」が満載です。

- ◆国語便覧は、授業に必要な資料を現場の先生のニーズに即して編集しています。教材研究の際、様々な情報源から資料を集めてくる手間が省けます。
- ◆授業の導入部での学習課題の発見、展開部での理解促進・課題解決、まとめにおける知識・理解の整理や表現など、授業での活用の仕方は様々です。



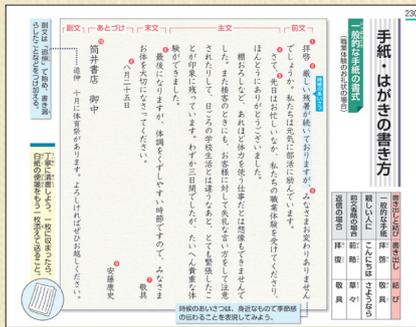
学校教育法第34条第2項にて、有益適切な図書教材(補助教材)の使用が認められています。

国語便覧の誌面には、生徒の心を引きつける魅力的な図版や話題がいっぱいです。

美しく豊富な図版, わかりやすい視覚的なまとめは国語便覧の醍醐味です。生徒の興味を引き、「国語便覧が好き」から「国語が好き」につながる生徒も少なくありません。



3学年分の学びが1冊にまとまっていることが、国語便覧の大きな強みの一つです。特に文法や古文・漢文の知識などは、いつでも柔軟に前学年の内容に戻ることができ、簡潔にまとまっているので重宝します。国語便覧1冊あればスパイラル学習にも、さらには入試対策としても役立つという点で、他には代えられない教材です。



国語便覧のもう一つの大きな価値は、手元に置いておきたい一生のものの「教養」であるということです。伝統文化の知識や季節感, マナーなど、実生活にも活かせる資料が充実しています。国語の授業だけでなく、機会のあるごとに生徒に学習させています。



## Q これからの便覧は、デジタル教材のほうがよいのでは？

図書教材には図書教材の良さがあります。

「写真などはプロジェクターで投影したほうが大きいし、動きを見せるなら動画のほうがよいのでは…」という声をお聞きます。確かに、デジタル教材にはデジタル教材の良さがありますが、図書教材には図書教材ならではの良さがあります。それは「内容の定着度が高い」ということです。デジタル教材は、その場面での理解はしやすいが、「わかったつもり」に陥りやすいという調査・論調もあります。

### 独自の調査・分析で適切さを確保

#### 日本図書教材協会の取り組み

国語便覧など資料集を発行している出版社の多くが加盟している日本図書教材協会では、検定制度のない教材に対する学校教材調査会を設け、大学教授と現職の中学校教諭で構成される調査委員により、加盟出版社の教材1ページ1ページ、資料1点1点の適否を分析してフィードバックし、次回の教材編集に活かす取り組みを行っています。

国語便覧その他の教材についてお知りになりたいことがありましたら、教材販売店までお気軽にお問い合わせください!